

学校評価シート

○本園の概要

本園は園児数101名（令和4年4月1日現在）、年少組24名・年中組32名・年長組45名、4学級の編成で保育を行っている。英語教育を保育に導入したのは、平成元年4月、当時は「生きる力」、「豊かな社会性」を育む為、英語を導入することで、何か新しい社会に子ども達の未来へ対して迎えるグローバル化の現実に対処も可能性が見られると考えた。

○自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組の内容	これまでの取組、今後の改善策	保護者、学校関係者のコメント
自分 に 生 き る 力 が 育 て て い く 、 自 己 能 力 向 上 を 持 つ 、 豊	英語を導入し、社会性やコミュニケーション能力が豊かになる	友達と楽しく英語で挨拶をすることができ、友達の良さに気付き一緒に活動する楽しさを味わう。	ネイティブの先生との関わりの中で外国人の方とも動じず挨拶をしたり、話しかけていこうとする。 今年度より1限はオンラインによる授業を導入する	・子ども達が話をよく聞いて理解して行動していく姿が素晴らしい。 ・誰にでも優しく声をかけてくれるので、嬉しく思う。 ・英語に対する苦手意識がなくなり、興味を持てるようになった
		物事をやり遂げようとする気持ちを持ち、自分の力でできない、表現することの充実感を味わう。	・英語での指示を聞いて取り組んでいこうとする力がつく。 子ども達はゲームに興味をもち、活動している。リモートに対しての適応能力は素晴らしい	・学会会の英語劇では堂々と大きな声で発表していく姿に感動した。 ・グローバル化が進み、英語力は強みではなく、必要不可欠なものになると考えられるので、この教育は必要だと感じた。
		生活を通して、家族の愛情に気付き、家族を大切にしようとする気持ちが育つ	・会話の中で感情や気持ちを英語で表現しようとする。 ・遊びの中で、英語を使って遊びを展開する場面が出る	・家庭においても、自分から挨拶をするようになった。 ・出かけた時に外国人の方に話しかける様子がみられるようになった。
		異年齢交流の効果が得られる	・園行事で先輩の姿をみて自分も出来るようになりたい、やってみようという意欲が出てくる。	・公園でも知らない子ども、年上の子にも、話しかけ遊びに入ってくる姿が見られるようになる
豊 か な 心 の 育 成 ・ 魅 力 あ る 教 育 環 境 づ く り	幼児は誰とでも安全・安心した環境をつくり安心した生活を良質な人的環境をつくりだす	協力する・努力する意欲が育つ	職員同士も協力する姿勢をつくる事で、環境が豊かになる。 お互いの長所を活かし、短所を補いながら協力・連携し、保育を進めていく。	訪問した時に、おだやかで安心する、子ども達が明るく、おだやかで落ち着いている印象を持った。 ・グローバル化が進む世界、多様性を受け入れるコミュニケーションツールとして有用。
		クラスで色々な問題が起きた時にディスカッションをし、子ども達中心に問題に対し解決していく、子どもの内面性を育てる	対話をして、子ども達がどうしたいのか、どうすれば良いのかを考え行動するようになる。 教諭の社会性が豊かにならねばならない。志を高く持ち、助言・指導する力をつけねば、良いクラス作ができない事を確認。	・連れて歩く時に状況を理解し、行動ができるようになり、感謝しています。（旅行に行っても、電車の中でおとなしく本を読んだり、折り紙をしたりする。） グローバル社会においてダイバーシティを受け入れ、英語を使って様々な国々の人々とコミュニケーションを取り、世界を広げて欲しい。
		ディスカッションの時に意見を発表し、クラスのリーダー、模範となりクラス全体の意識が高まる。保育者も一人の人間として協力していく。	・クラスの基盤意識が高まる。 ・異文化の先生との関わりでもじっくりと話を聞いて自分の気持ち、意志を伝えようとする。 ・現在の子供達一人一人を活かし、統率していく事は、容易な事ではない。園長を中心に研究会があるから、少しずつ理解成長できる。	・言われている事がわからないと、「お母さん、怒らないで、もう一度教えて・・・」と言ってくるのでハッとする。その成長が嬉しい。 ・国際共通語の英語はビジネスで使う、自分の意見を英語でも言える子になって欲しい。

<p>未来社会を創造的に生きる子どもの育成</p>	<p>英語を学ぶことでコミュニケーション能力、情報活用能力、生きる力等、これからの社会の変化にグローバル化に努めてなじみ、しなやかに英語力を身につけ自信と生きる力に勇気づけたい</p>	<p>社会の情報をマスメディアからの知識を見たり、開いたりする中で未来を創造し、グローバルに活動をしようとする力がつく</p> <p>子どもが好むゲームを生かす入口になればと、リモートで学ぶ英語を導入する</p> <p>オンラインによる授業を導入する</p>	<p>様々な事象に目を向け、子ども達の興味関心を広げていく事ができるよう、対話をする力をどの保育者も課題とし取り組んでいく</p>	<p>オンラインによる授業を受けることで指示に対して正確に取り組んでいこうとする聞く力が養われると感じた</p>
<p>学力の向上</p>	<p>個々の幼児一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を豊かにしたい</p>	<p>絵本や物語などに親しみ言葉に対する感覚を豊かにし、先生・友達と心を通わせる</p> <p>数量や文字など日常生活の中で幼児自身の必要感に基づく体験を大切に、興味や感心、感覚が養われるようにする</p>	<p>英語の時間にも読み聞かせが入り、話をじっくりと聞こうとする姿が見られる</p> <p>日常の保育・遊びの中で様々な形で数や文字を取り入れる。英語の時間にもカウントの取り方アルファベットなど導入していき興味が広がる</p>	<p>・自分の名前をアルファベットで書くようになった</p> <p>・簡単な単語はわかり、読むようになる</p> <p>・町を歩いていて文字をひろい読みするようになっていた</p>
<p>体力の向上と健康の増進</p>	<p>スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着によって誰とでも身体を使って遊び、成長・発達に自信をもつ</p>	<p>早寝早起き朝ごはん子ども達の望ましい生活習慣についての意識を啓発する</p> <p>食事に対する意識を育てる</p> <p>体操の時間、体育的行事、遊びを通して園児が主体的に体を動かす</p>	<p>「8時には寝ること」10時間は睡眠をとる事を話すと正しく理解し行動する</p> <p>・コロナ禍、病気に負けない為にもなんでも食べるという意識を育てる</p> <p>・作りで自分達で作ったものを喜んで食べる</p> <p>・野菜や食品の名前など英語で発音することで興味が広がる</p> <p>運動量を増やし、敏捷性、持久力を培う</p>	<p>生活習慣が正しく身に付いていく</p> <p>一人で寝れるようになった</p> <p>・給食が入り、嫌いなものでもチャレンジしていくようになった</p> <p>・食が細く、食事に時間がかかる</p> <p>・家でも一緒に手伝いたいという姿が増える</p> <p>・「I'm hungry」など英語で表現してくるので微笑ましい</p> <p>・運動量が増え、時間で就寝するようになり正しく生活リズムがついた</p>
<p>と幼な種つ園て・と家も庭に・進地め域るが教一</p>	<p>幼児の環境・家庭・地域と共に開かれた豊かな子供を育てる環境を作る工夫へ努める</p>	<p>幼稚園での取り組みを理解していたため、冊子を作成し配布する</p>	<p>ミニコンサートなど子ども達の様子、保育の目的等をわかっていたきたいとおもっているが中々人が集まらないのが課題である</p>	<p>外国の家庭、子どもの生活・遊びに興味をもち同時にその時の言語表現にも興味を持ち出し子ども達の環境への適応性に感動する</p>

○異文化の先生との関わりからも、自己表現、発表、発言する力を勇気付けて頂き、物怖じする事なく行動していく力を後押しして頂ける。